

平成 27 年度(2015 年度) 理事会のポイント(第 5 回理事会まで)

第 1 回 平成 27 年 6 月 14 日理事会

(主な議案)

- ・代表理事に星野正史理事が選任された。

第 2 回 平成 27 年 7 月 5 日理事会

(主な議案)

- ・新理事の役割について、理事会にて承認された。

—副会長に井原健三、山本正秀、米丘 健

—専務理事に齋田 守

—常務理事に東 伸行、伊藤一人、江村宏二、釜井昭人、宮脇信介

—業務執行委員については、理事が担当する委員長の責任が大きいことを確認した。また、各委員会については人数等に特に制限がないことが合わせて確認された。

- ・前理事会からの引継ぎ事項について星野会長と総務・企画委員会から説明があり、新理事会において確認された。

—前理事会は「不正経理問題」への対応を中心に、過去の清算とその対応に費やされてきたが、今後は、2020 年の東京オリンピック・パラリンピックを視野に入れ、大きく前進するためには、新理事が一丸となって前進する必要がある。

以下の課題について、会員の皆様からのご協力を衷心よりお願いしたい。

- ① 「不正経理問題」の経緯と対応
- ② 理事会・事務局体制の刷新強化
- ③ 財政基盤の強化
- ④ 透明度強化の推進
- ⑤ 東京オリンピック・パラリンピック等その他の今後の主要課題への対応

第 3 回 平成 27 年 7 月 26 日理事会

(主な議案)

- ・組織体制について審議した。

—必要に応じて組織体制をある程度柔軟に変更していくことが確認された。

—財務委員会に、山本副会長、江村理事、三野理事が委員として加わった。

- ・理事会の代理出席については法的な制約があり、委員長不在の場合は審議事項の提案や報告を行うことは出来るが、他の審議事項については聞くことはできず、議決権は無いことが確認された。

・クラウドファンディングの進捗状況について報告された。

第4回 平成27年9月12日理事会

(主な議案)

- ・会に先立ち、9月10日急逝された井原副会長に哀悼の意を捧げる黙とうを行った。
- ・広報委員会のガイドラインが了承された。
- ・メール・マガジンの発刊の検討が了承された。
- ・リオ五輪にむけた特別強化については予算面の制約から継続審議となった。
- ・個人登録既定の運用方法について議論がされた。
- ・ベテラン委員会から、アジアマスターズおよび世界ベテランの派遣選手について報告された。
- ・アジア・フェンシング委員会において、女性役員の比率を高める目標が決議されたこと等が報告された。
- ・車いすフェンシングについて、国際審判と技術講習会を京都で行った旨の報告があった。また、東京でのオリンピック・パラリンピック開催を見据えて、車いすフェンシングの審判員と選手育成を行う必要性が示された。

第5回 平成27年10月18日理事会

(主な議案)

- ・井原副会長のご逝去にともない、学連理事会の推薦者を(公)日本フェンシング協会顧問とし、次回の総会まで理事会に出席していただくことが了承された。尚、顧問は理事会に出席し意見を述べるができるが、議決権は有しない。
- ・強化本部から 2015 世界ジュニア・カデ選手権 日本代表(男女フルーレ)選考方法について説明および確認が行われた。
- ・審判制度の見直し、FJE 登録規定改定等が議論され、了承された。
- ・日本フェンシング協会主催の大会において、今後原則として、結果速報をホームページに掲載する担当者を大会本部内に置くことが了承された。
- ・2020 東京五輪に伴う、事前合宿などについて体制強化の方向が確認された。
- ・理事会議事録の要旨をホームページに掲載をする方向性が了承された。
- ・日本フェンシング協会情報誌メール・マガジンの発刊に向けた状況報告が行われた。
- ・高円宮牌の準備状況について報告が行われた。

以上

平成 27 年度、平成 28 年度(2015 年度、2016 年度) 理事会のポイント(第 6 回理事会以降)

第 6 回 平成 27 年 11 月 29 日理事会

(主な議案)

- ・故 井原副会長の後任として、日学連代表の高橋英一氏を顧問として迎える旨を承認し、次回総会において理事承認の手続きが行われることとなりました。
- ・全日本団体戦選手権並びに全日本個人選手権の進捗状況について報告がありました。そのなかで、車いすフェンシングについても、全日本個人選手権とともに競技実施の旨確認しました。
- ・全日本団体選手権について、追加登録の要望を承認しました。
- ・今後の国際大会への派遣について、国際情勢が不安定化しているおり、情報収集に努め、安全対策を推進すること。また、選手のみでなく引率者等スタッフも保険に入る必要があること。さらに、事前に承諾書を必ず取ること等について、承認(一部条件付)しました。
- ・今後の強化方針について議論しました。強化費用が不足しており、今後の試合状況を注視しつつ、広告収入やスポンサーの獲得に努めることが確認されました。
- ・日本フェンシング協会情報メールマガジンの発刊について、創刊号について、事務局での作業が発生しない範囲で配信を行う旨が了承されました。次回以降の対応については、継続協議となりました。
- ・審判制度の見直しと方向性について議論しました。審判員のステータスを上げる必要がある。また、パラリンピック用審判員の養成も視野に入れなければならないとの方針が承認されました。
- ・アンチドーピング規定について、強化本部長の東氏担当のもと、年内に提出することとなりました。

(そのほかの主な報告事項)

- ・2015 アンチドーピング・アウトリーチ・プログラムの実施。
- ・アスリート委員会から、ファン感謝祭を実施予定(12/27)、オリジナルカレンダー製作予定。
- ・国際委員会から、FIE 理事会・総会について。
- ・会計帳簿作成業務の経緯について、現状と今後の見通しについて。

第7回 平成 28 年 1 月 9 日理事会

(主な議案)

- ・登録規定の検討報告及び登録規定案について、団体登録費について5,000円/1名とし、支部還元を500円にする旨承認されました。
- ・理事会運営規定修正案について以下の諸点が承認されました。
 - ー顧問は、必要に応じ理事会に出席して意見を述べるができること。
 - ー事務局長は、必要に応じ理事会に出席して議案について補足説明を行うこと。
 - ーメール決済は、全員の賛成によること。
- ・協会委員会経費の計上を含め、今後の予算策定について議論しました。

－会費値上げにより事務局経費が概ね賄われる構造となったが、その一方、事務局は予算の適正性吟味も含め費用削減に今後も努めること。

－登録業務のウェブ登録化が事務局業務の効率化につながっている一方、費用削減に向けて、登録業務外注費用の適正性を吟味し、業者選定の工夫の余地がないか等検討すること。

－上記等の議論を経て、今後の予算策定・均衡化の議論を進めていくことが承認されました。

・協会ホームページに英語表記を追加していく方向で議論していくことが承認されました。

・末松理事の会員獲得委員長への就任とともに、対外広報については広報委員会から総務・企画委員会に業務を移管することを承認しました。

・2016 年に行う事業計画について議論しました。高円宮杯や全日本選手権などの主要大会について、十分に先行して準備し、主管の東京都協会などと密接に協力し対応することの重要性を認識し、事業委員会を中心に2月中に事業日程をまとめる方針が決まりました

・今後の総会および理事会等について日程(予定)が承認されました。

－総会および理事会等の予定(変更となる場合があります)

2月14日(日)10:30	スケジュール委員会、理事会
3月4日(金)	正会員への資料配布
3月19日(土)10:00	理事会、総会
4月24日(日)13:00	理事会
5月22日(日)13:00	理事会
6月19日(日)10:00	理事会、総会、壮行会
7月23日(土)18:30	理事会
8月21日(日)13:00	理事会
9月25日(日)13:00	理事会
10月30日(日)13:00	理事会
11月20日(日)13:00	理事会
11月30日から12月4日	全日本個人戦
12月23日から25日	全日本団体戦
12月18日(日)13:00	理事会

(そのほかの主な報告事項)

・日本スポーツ仲裁機構主催シンポジウムの報告

－これに関連し、掲示される大会要項の正確性に対する配慮、選考基準の透明化・公平性の確保、選手からの意見聴取の重要性を確認する意見が出されました。

・ビデオ判定機システムの調達について

・資金繰り動向

・全日本個人選手権におけるマスメディア対応

・パラリンピック選手発掘のイベントの実施

第8回 平成28年2月14日理事会

(主な議案)

・タレント発掘・育成コンソーシアム委託事業(TC 事業)の平成28年度継続に伴う運営方針及び予算案原案について、議論、承認されました。

—これまでの育成強化は世界カデ選手権大会に参加する選手を輩出するなどの実績をあげた。

—引き続き男子サーブル・女子エペに力点を置き、今後はカデ層の強化に注力する。

・データベース構築による改革案について提案されましたが、現状との比較など、次回理事会において継続審議していくことになりました。

・フェンシング競技用ビデオ判定システムの購入について承認しました。

・ホームページに英文ページを追加作成することを承認しました。

—会長による日本協会ご挨拶、日本協会問い合わせ先、海外から参加可能な日本での試合情報の提供など、必要性の高い情報から掲載して参ります。

・顧問追加選任について、協会運営に永年尽力された功績を称え、4名の方を協会顧問就任が了承されました。

山本 秀雄 氏 (日本フェンシング協会 元会長)

永岡 訓二 氏 (日本フェンシング協会 元副会長)

中島 寛 氏 (日本フェンシング協会 元副会長)

星野 敏 氏 (日本フェンシング協会 元会長)

・登録規定改定について、以下の点等について議論し、承認されました。

—所属選手一人につき5,000円の登録費を計上する。

—第3条 2. 個人登録の項目で対象となる「役員」について、各支部の会長及び副会長又は理事長を追加する。

・サーブルグローブに関する規定変更について承認されました。

—本件に関わるFIEの決定は既に通知されておりますが、ホームページに掲載し、4月1日から適用致します。

・世界ジュニア・カデ選手権大会について承認されました。(尚、選手に関係する理事は、関係する選手の選考に関わる議決には参加できません。)

(そのほかの主な報告事項)

・2016年アジアジュニア・カデ選手権大会(サウジ・バーレーン)日本代表選手団について、参加承諾書を提出していただき、安全の手引き等も作成し万全を期して大会に参加する旨、報告がありました。

・平成27年度全日本団体時に於ける審判講習会及び審判試験の実施

第9回 平成 28 年 3 月 19 日理事会

(主な議案)

- ・国際審判員への謝金の値上げについて審議し承認されました。
- ・公務員(教員も含む)の長期研修生の受け入れについて審議し承認されました。
- ・平成 28 年度上月財団「スポーツ選手支援事業」支援対象者の推薦について承認されました。
- ・「平成 28 年度国際人養成アカデミー」の新規受講生募集について承認されました。
- ・ユニバーシアード委員会委員、および、2020 年事前合宿担当理事の選任について審議し、いずれについても三野理事が担当となりました。
- ・アジアフェンシング選手権について、強化本部が選定したメンバーについて承認されました。
- ・その他、FIE/FCA 選挙に関わる案件、エリートアカデミー生に関わる案件、協会委員会構成に関わる案件、登録規定や総会進行に関わる案件、資金繰りに関わる案件、業者契約に関わる案件等について審議し対応致しました。

(そのほかの主な報告事項)

- ・FAC 国際審判員試験
- ・平成 28 年度年間事業計画
- ・2016 年アジアジュニア・カデ選手権大会(サウジアラビア/バーレーン)結果
- ・資金繰り報告・スポンサーの状況、等

第10回 平成 28 年 4 月 24 日理事会

(主な議案)

- ・リオデジャネイロ・オリンピックの選手・役員等のJOC推薦について、太田雄貴(フルーレ)、見延和靖(エペ)、徳南堅太(サーブル)、西岡詩穂(フルーレ)、佐藤希望(エペ)、青木千佳(サーブル)の6名の選手、および、オレグ・マツエイチュク(男子フルーレ)、菅原 智恵子(女子フルーレ)、オレクサンドル・ゴルバチュク(男女エペ)、リー・ウツェ(男女サーブル)の4名のコーチが承認され、JOCに推薦することとなりました。監督選任については星野会長に一任することとし、監督に橋本寛氏が選任されました。
- ・支援コーチについては、資金面の対応について協議することになりました。
- ・ランキングマッチの日程について、強化本部は日程を4月末までに発表する一方、会場手配についても準備を急ぐとともにランキングの透明化を図る旨、了承されました。
- ・FJE有期契約職員就業規則の改定案が議論され、継続して検討することになりました。
- ・選手のスポンサー・マネジメント契約等に関する規約が承認されました。本件については、選手会と協議をしてきましたが、原則として、選手個人のスポンサー獲得を奨励する一方で、報告を義務付けることで問題ある企業との契約を防止することを狙いとされています。

- ・総会運営規則について承認されました。総会における動議の取り扱いについて追加するとともに、議事録署名人は任意であることを明確としました。
- ・理事のパフォーマンス評価を行う方向で議論を続けることが了承されました。
- ・オリンピック出場選手紹介記者会見(4/20 実施)の報告ならびに費用について承認されました。今後は事前に予算化することも合わせて了承されました。
- ・倫理規定・行動規範について、倫理規定については承認されました。合わせて、5月理事会までに、行動規範についてとりまとめることが了承されました。

(そのほかの主な報告事項)

- ・アスリート会議で行われたコンディショニングの状況に関するアンケート結果が説明されました。
- ・アスリート会議が主催するファン感謝祭を本年は9月10日に開催することが報告されました。
- ・(公財)日本体育協会より、当協会の29名が公認スポーツ指導者制度に基づく競技別指導者マスターの称号を付与されました。
- ・ワールドカップグランプリ大会(韓国・ソウル市)の事前合宿が8か国・93名の参加の下、大分市コンパルホールで行われました。広瀬知事はじめ佐藤市長の歓迎を受け成功裏に終了することができました。多くの皆様のご協力に感謝いたします。
- ・理事会議事録について、理事会終了5日後には、書記より議事録を提出。提出後は全理事・監事へ回覧し、修正・訂正があれば3日以内に回答する手続きとします。その後、総務・企画委員会が要旨作成の上、事務局が速やかにHPに掲載します。

第11回 平成28年5月22日理事会

(主な議案)

- ・リオデジャネイロ・オリンピックの支援選手・スタッフ派遣について了承されました。
- ・2017年日本代表選考方法について、アスリート委員会と協議後、ホームページに掲載することとし、条件付きで承認されました。
- ・FJE 有期契約職員就業規則の改定について、原案を濱口監事と協議することとし、条件付きで承認されました。
- ・継続審議となっていた行動規範について承認されました。倫理規定・行動規範について、今後も必要に応じて修正・調整を行い整備を続けていく旨も確認されました。
- ・理事のパフォーマンス評価については継続して協議することとしました。
- ・第2回全国小学生フェンシング選手権大会要項についてHP掲載も含め承認されました。
- ・平成28年度ジュニア育成成功労者表彰推薦書の承認について、原案のとおり承認されました。
- ・審判員規則について、原案のとおり承認されました。
- ・車いすフェンシングに係る担当者任命のFIEからの勧告について、小松理事を推薦することが承認されました。

- ・定時社員総会を平成28年6月19日(日)13時30分上野精養軒開催することが承認されました。
- ・平成28年度JSC委託事業「アスリートパスウェイの戦略的支援事業」への入札応募と準備(事業実行準備委員会の立ち上げ)について、原案のとおり承認され、合わせて準備委員会の構成員に三野理事を追加することが承認されました。
- ・指導者・競技者育成関連事業 謝金旅費規程の改訂について、原案のとおり承認されました。

(そのほかの主な報告事項について)

- ・総務・企画委員会から、リオデジャネイロ・オリンピックにおける広報・マーケティング活動に関する注意事項について説明が行われました。特に、オリンピックの映像配信等についてはSNSを含め制限が厳しいことから、東・江村理事が選手等に対し研修会で説明することが確認されました。
- ・総務・企画委員会から、リオオリンピック記者会見について報告されました。尚、今後は記者会見と体験教室を別途開催する方向性が示されました。
- ・第2回全国中学生フェンシング選手権大会要項について報告がありました。
- ・審判委員会から、スポーツ審判員奨励候補推薦者、および、委員及び担当の追加と組織図の変更等について報告がありました。
- ・国際委員会から、FIE/FCA役員・委員選挙進捗状況、MOFA招聘交流事業第一回の実施結果ならびに第二回の進捗状況等について報告がありました。
- ・フランス(ムーランのフェンシングクラブ)から子供たちを招聘しました。協会HPにも英文でお知らせを掲載しました。
- ・JSC アスリート助成及び江副記念財団助成について説明がありました。

第12回 平成28年6月19日理事会

(主な議案)

- ・ユニバーシアード大会選手の選考方法について、より基準を明確化をする方向で日学連が中心となって新しい選考方法案を策定し、次回理事会で提案する旨、了承されました。
- ・強化指定選手の実態調査と対策委員会の設置について議論を行い、具体的作業については、法務委員会、強化本部、アスリート委員会で協議してすすめ、次回理事会で報告することが了承されました。
- ・東京2020オリンピック競技大会国内競技団体協議会の委員選任について議論を行い、東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会からの各NFの代表者は原則として専務理事クラスを選出するべきとの趣旨に照らし、齋田専務理事の推薦を全員一致で決定しました。
- ・事務局に依頼がある「競技成績証明」や「大会出場証明」等の発行手数料について議論しました。今後はホームページに申請手順等を掲載し、手数料の支払いは原則切手によるものとし、金額や内容については事務局一任することとしました。

(そのほかの主な報告事項について)

・平成28年度 JSC アスリートパスウェイ戦略的支援事業について、6月10日に JSC のヒアリングが行われ、7月1日から3名の正規スタッフとして決定した旨、報告がありました。

第13回 平成 28 年 7 月 23 日理事会

(主な議案)

・ユニバーシアード大会派遣選手団選考の日学連が中心となって作成した素案について、理事会はこれを了承するとともに、次回理事会において強化本部と調整した最終案を提案することが了承されました。

・協会商標登録について議論を行いました。当局からの指摘もあり、協会ロゴ等の商標登録実施について継続して審議を行うことを了承しました。本年 10 月をめどにスローガンも含め意見を集約し対応を決定する方針です。

・リオオリンピックのメダル獲得に係る報奨金について議論しました。原資が確保されることを条件に本件について一定の対応を行うことが了承されました。

(そのほかの主な報告事項について)

・平成 28 年度強化配分計画について強化本部から報告がありました。次回理事会で継続して報告することとなりました。

・平成 28 年度 JSC アスリートパスウェイ戦略的支援事業について、6 月末に JSC と契約が取り交わされ、7月1日より活動を開始した旨報告がありました。

・平成 28 年度全日本ベテラン選手権について、2016 年 11 月 26・27 日に明治学院大学の協力を得て実施する運びとなった旨報告がありました。

・アスリート委員会主催の平成 28 年度の感謝祭について 9 月 10 日の実施を予定していましたが、期日が変更となった旨報告がありました。新しい期日については、関連部署と協議の上決まり次第報告される予定です。

第14回 平成 28 年 8 月 28 日理事会

(主な議案)

・第 29 回ユニバーシアード大会選手選考大会要項案等選考案について議論しましたが、詳細について引き続き詰めていくことが確認されました。

・AU23 大会での FCA 国際審判員試験予算書について承認されました。協会は国際審判員の重要性を認識し、これをサポートする一方、参加個人からの手数料徴収等について審判委員会で継続的に議論することとなりました。

・スポーツ仲裁自動応諾条項と研修会実施が承認されました。9 月、10 月、11 月いずれかの理事会に先立ち、理事に対し講習会を実施する予定です。

・前回実施総会での質問事項について議論しました。

—登録費を値上げする中での事務局事務の外部委託の合理性について議論しました。事務局員の公募や事務局員の移動など動きがあり、継続的に議論することとなりました。委託費用が高額であるとの指摘があり、外部委託業者を比較したうえでの選定、委託事務の内容開示など透明化推進が重要との意見が出されました。また、登録費の用途のみならず、協会の支出全体について情報開示を進めるべきとの意見が出されました。

—登録者数が顕著に伸びている県協会について表彰する案について承認されました。

—総会運営に関する質疑応答に関する対応や正会員の途中交代について、法務委員会および事務局で検討していくことになりました。

—総会出席に関する費用負担やフェンシング競技者人口が少ない県への対応等について機構改革委員会および会員獲得委員会で検討していくことが確認されました。

(そのほかの主な報告事項について)

・総務・企画委員会から主管業務の一つである広報活動の一環として、無駄が多く環境問題としても認識が広まりつつある、競技会表彰式で贈呈される生花に替わる記念品を作成していることが説明されました。AU23大会および宮牌での表彰式に採用される予定です。

・第 69 回全日本選手権(個人・団体) 開催要項(案)について説明がありました。車いすフェンシングの実施、参加権の繰り上げ方法や参加枠の配分について説明される一方、サーブルの新ルールを採用する方針が示されました。

・アジアマスターズ 2016 大会の参加選手について報告がありました。

・AU23 大会における日本人審判員のスケジュールについて報告がありました。並行して AFC の女性会議を開催する予定もあり、女性審判員参加の重要性を指摘する意見が出され、審判委員会で検討することになりました。

・強化本部から、①2020 東京オリンピックに向けた強化方針についての報告、および、②2016 リオデジャネイロオリンピック競技成績についての報告がありました。星野会長から、強化本部の再構築について、強化本部と理事でプロジェクトチームを作り、ゼロベースで強化本部体制を見直す方針が示されました。

・11 月の理事会について 11 月 23 日(水・祝)に予定が変更となりました。尚、年内その他の月の理事会開催日の予定に変更はありません。

第15回 平成 28 年 9 月 25 日理事会

(主な議案)

・カデ国際大会の日本での開催及びその準備について検討し、了承しました。日本のみならず、アジア地域で初めてカデに特化した試合を開催することで、日本のリーダーシップを発揮出来る等の意見が出されました。一方、開催地については、地方のタレント発掘事業を行っている地域に声掛けしていく方針が示されました。

- ・第 29 回ユニバーシアード大会選手選考会大会要項等選考案について検討しました。前回理事会に提出した素案の見直しにあたり、日学連の意見集約を行う必要性が出てきたことから、今回は継続審議とし、11月の理事会に諮ることになりました。
- ・第 5 回 U-23 アジア選手権 日本代表選手団について提出案を承認しました。
- ・2016 世界ベテラン選手権 日本代表選手団について提出案を承認しました。
- ・2016NAVI 事業での事務手数料について検討し、事務的負担が大きく、一定の時間外手当等が発生することから、その徴収を承認しました。

(そのほかの主な報告事項について)

- ・会員獲得増強について議論しました。顕著な会員増が認められる各都道府県の支部を、社員総会において表彰することとしました。地方では少子化が進んでおり、フェンシングに限らずスポーツの競技人口が減少しており、大学卒業後の辞めてしまう人をどのように留まらせるかが課題となる等の意見が出されました。
- ・強化本部から、JOC エリートアカデミーにつき、次年度に向けてタレント発掘、国内大会派遣に伴う帯同等につき、100万円程度の予算要求を行う方針が示されました。
- ・アスリート委員会から、ファン感謝祭を12/4、アスリート選挙を12/1～12/4にそれぞれ実施するとともに、小中学生を対象とする子供クリニックの開催計画等について報告がありました。
- ・強化本部の体制について、9月末で現状の強化本部体制を終了する旨報告がありました。

第16回 平成 28 年 10 月 30 日理事会

(主な議案)

- ・強化本部新体制について、強化本部長を敷根裕一氏とすることを決議しました。今後の強化本部体制については、新しい強化本部長を中心にすすめ、理事会において承認を行うことを確認しました。また、強化本部の運営状況をモニタリングし評価を行うことを目的とする委員会の設置を決め、その人選について次回理事会において会長から推薦を行うこととしました。
- ・ナショナルチーム女子フルーレの新しい海外招聘コーチとして、フランク・ボアダン氏の採用について了承しました。
- ・スポンサー候補先(株式会社デジタルアイデンティティ)との業務提携について議論し、今後検討を進めていくことを了承しました。
- ・森永製菓株式会社ウィダートレーニングラボとの後期契約について承認しました。
- ・エリートアカデミー第10期生の推薦について、強化本部の提案を承認しました。
- ・アスリート委員選出に於ける選挙管理委員会設立について承認しました。
- ・アスリート委員会が中心となって作成する2017年カレンダー作成について承認しました。
- ・事務局員の労働環境について整備をすすめていくことを承認しました。
- ・第24回JOCジュニアオリンピックカップフェンシング大会試合方法について、サーブル種目につ

いてシード選手選定及びその試合方法について変更を行うことを承認しました。

(そのほかの主な報告事項について)

- ・強化本部から2016リオオリンピックに関する報告書について説明がありました。より包括的な報告が必要との意見が出され、内容を補強することとなりました。
- ・アスリート委員会から選手サイドからの同オリンピックに関する報告がありました。
- ・アスリート委員会から選手感謝祭実施について説明がありました。
- ・国際協力機構(JICA)青年海外協力隊事業への協力について報告がありました。
- ・江村元ナショナルコーチの業務引き継ぎについて和田コーチより説明がありました。
- ・事務局から、資金繰り動向、高円宮牌のチケット販売協力、事務局の人事異動等について報告がありました。
- ・アジアフェンシング連合 女性審議会 において、各国フェンシング協会の各委員会において 3割以上を女性委員とする方向が採択されたとの報告がありました。

第17回 平成 28 年 11 月 23 日理事会

(主な議案)

- ・敷根強化本部長より、強化本部担当理事変更等に伴い、パスウェイ事業実行委員会委員の交代指名について提案がありました。副本部長には関西から三野理事、東北から橋本寛氏を任命するとともに、江村前常務理事の後任に敷根本部長、東理事の後任に三野理事が兼務する旨提案があり、これを承認しました。
- ・エリートアカデミー在校生の更新について、3名を追加的に継続することについて提案があり、これを承認しました。
- ・第29回ユニバーシアード(中華台北)夏季大会派遣選手選考会にかかわる選考会実施計画について、日本フェンシング協会への登録、教育担当官庁の確認等について再検討することを条件に承認しました。
- ・フェンシング映画(邦題「こころに剣士を」(原題:The Fencer))の後援について議論し、これを承認しました。協会ホームページへのバナーを掲載や支部を通じた広報などを通じ、後援することとなりました。
- ・各種表彰の推薦者について提案があり、これを承認しました。

(そのほかの主な報告事項について)

- ・審判委員会より、ビデオシステム説明会の実施について報告がありました。今後、ビデオシステムが広く活用できるよう支援していく方針です。
- ・ベテラン委員会より、アジアンマスターズ 2018 年開催予定を誘致することについて報告がありました。

第18回 平成28年12月18日理事会

(主な議案)

- ・2017年度NAVI事業方針とJSCスポーツ振興くじ助成金申請案、並びに、2017年度大会事業等に係るJSCスポーツ振興くじ助成金申請案について協議し条件つきで承認しました。当該資金に関する運転資金調達の具体的対応について事務局が検討・報告すること、育成と強化の連携を強めるため関連する理事(頼藤、田中、三野)と強化本部が協議することが条件とされました。
- ・総会運営規定改定につて原案通り承認されました。
- ・JADA 未成年者親権者同意書取得について条件付きで承認されました。2017年3月までに登録システムで対応できる様に対応することが条件とされました。
- ・名誉審判員(S級)の推薦候補者名及び表彰について原案通り承認されました。
- ・2018 アジアマスターズ開催について協議をしましたが、必要経費等についてより詳細な検討が必要として承認されませんでした。

(そのほかの主な報告事項について)

- ・強化本部から2017年初までに種目毎の具体的な目標について策定する旨報告がありました。
- ・第29回ユニバーシアード(中華台北)夏季大会選手選考会の出場資格者について、2017年4月10日までに2017年度日本フェンシング協会登録済みの者、文部科学省に承認された大学のみ有効とすること等の条件について報告がありました。
- ・総務・企画委員会から管掌する広報活動について、全日本選手権(個人戦)におけるマスメディア対応、および、合わせて実施した記者会見について報告がありました。
- ・事務局より、次回の理事会において大会毎の収支について報告を行うこととなりました。

(今後の日程について)

- ・今後の理事会日程について以下の通りとなりました。
 - 1月14日13時
 - 2月12日13時
 - 3月11日総会(JISS)
 - 4月23日13時
 - 5月28日13時
 - 6月25日総会(JISS)
- ・尚、1月23日17時までに各委員会は事務局宛に資料を提出。

第19回 平成29年1月14日理事会

(主な議案)

- ・2017 カデ・サーブル国際大会の準備について強化本部より提案があり協議を行い、助成金が受けられることを条件として、和歌山市において実施する方向で検討を進めることが承認されました。運営の主体となる準備委員会の委員長を東理事が担当することも合わせて承認されました。
- ・2017 アジアジュニア・カデ選手団について強化本部より提案があり、提案通り承認されました。
- ・会員獲得に向けての取り組みについて会員獲得委員会より、ブロック代表者を選出し会員獲得への協力依頼をする旨提案があり、協議の上これを承認しました。
- ・2017 年度のシニア・ジュニア・カデの各カテゴリーの国内ランキング選出方法及びランキングポイントについて、強化本部より提案があり、これを了承しました。
- ・ユニバーシアード内示選手の変更について強化本部より提案があり、強化本部案通り、男子サーブルを4名から3名に、女子サーブルを3名から4名にそれぞれ変更することを了承しました。
- ・協会の公印規定について、法務・倫理委員会から案が示され、詳細規定については調整することを条件として承認されました。
- ・理事選出方法について、理事会で承認された「検討委員会」での諮問を参考とした会長提案に基づき議論しました。会長提案では、2020 東京を視野に入れ協会経営の高度化・国際化・専門化が強要請される環境下、協会経営に必要な機能を各理事ポジションに振り分ける方針が示されました。その一部のポジションは会長が指名する一方、その他のポジションについては、各団体の代表を含め広く立候補者を募ります。立候補者の理事決定方法については、未定であり、①会長が調整を行い総会で承認を得る。②公募となる各ポジションについて選挙を行い、選挙で決められなかった、あるいは調整が必要と認められる時は会長が調整し総会で承認を得る。③現行通りとする方法が議論されました。

これに対し、「学連・高体連など公募はそぐわない。推薦が適している」、「アスリート代表は、現役選手ではないほうが良い」、「幾つかのポジションについては、機能をまとめても良い」等の意見が示されました。

理事会は、経営環境の変化に鑑み、機能別に理事ポジションを割り当てる概要について必要性を認めこれを承認しました。具体的な理事ポジションの詳細や決定方法の詳細については今後の課題としました。

(そのほかの主な報告事項について)

- ・H28 年度パスイエ事業認定選手の追加指名について、強化本部より、12月11日に実施した選考会により男子サーブル4名及び女子エペ3名を追加した旨報告がありました。
- ・医学委員会副委員長の交代について、強化本部より報告がありました。
- ・フェンシング映画(「こころに剣士を」)の後援状況について、総務・企画(広報)委員会から報告がありました。試写会イベントへの協力、競技会場でのポスター掲示・ビデオクリップを放映や、優

待券・割引券の配布を行っています。

- ・第 72 回国民体育大会愛媛国体フェンシング競技大会要項について、事業運営・カレンダー表彰委員会から適用する規則の詳細について報告がありました。
- ・法務・倫理委員会、国際委員会から、2016 年度業務について報告がありました。
- ・2016 全日本選手権大会(団体戦)の武器検査において武器検査時に乱暴なクレームがあったとの報告があり、対処を検討することになりました。
- ・エリートアカデミー活動について、エリートアカデミー10期生推薦3名については全員採用見送りとなり、7期生の内1名が進学変更を行った旨報告がありました。

臨時 平成 29 年 1 月 29 日理事会

(主な議案)

- ・協会理事選挙について審議しました。既に第 19 回理事会において、経営環境の変化に鑑み、機能別に理事ポジションを割り当てる枠組みと概要について必要性を認めこれを承認しておりましたが、具体的な理事ポジションの詳細や決定方法の詳細について、継続的に審議したものです。
- ・理事会の有り方、理事を選ぶ方法について多くの意見の交換と議論を行い、以下の点について合意がまとまりました。
- ・理事計 20 名の選び方に関する人数枠について— ①立候補者から選ぶ理事 10 名、②理事会の推薦により選ぶ理事 7 名、③団体推薦をもとに選ぶ理事 3 名とする。
- ・育成、指導者、ベテラン各担当の理事については、共同の枠が設けずに各理事について個別に選ぶこととする。

第 20 回 平成 29 年 2 月 12 日理事会

(主な議案)

- ・全日本選手権(団体戦)新規出場枠について議論しました。今後、2018 年を目途に実施に向け事業委員会で調整作業をすることとし、継続審議となりました。
- ・総会において会員増に優れた実績をあげた支部について表彰することを議論し、これを了承しました。授与する報奨金の詳細については、諸事情を考慮し決定することとなりました。
- ・総会での理事選挙に向けて、前回理事会の決定を受けて、3 月 11 日までに理事会推薦者を決定することとし、その期限までに星野会長が会長を含めた7名の理事会推薦候補者を理事に連絡すること等を承認しました。
- ・スポーツマネジャーの選任について了承しました。

(そのほかの主な報告事項について)

- ・2017 世界ジュニア・カデ日本代表選手団について、強化本部から、保留となっていた男子カデ・

サーブル選手 1 名が確定したこと、および、競技役員総務は後日決定を報告する旨、報告がありました。

・そのほか、JOC エリートアカデミー第10期生候補者、平成29年度外務省スポーツ外交推進事業説明会、千葉県のイベント実施等について報告がありました。

第 21 回 平成 29 年 3 月 11 日理事会

(主な議案)

・選挙における理事候補者の理事会推薦について、星野会長より提案がありました。協議の結果、原案通り、会長：星野正史、専務理事：齊田 守、総合企画：山本正秀、宮脇信介、法務・倫理：井口加奈子、財務・マーケティング：太田雄貴、強化：敷根裕一が理事会推薦をうけることとなりました。尚、当該議決には利害関係を有する理事は参加しておりません。また、この理事会推薦理事については、総会において新選挙制度が承認された場合に提出する案ですが、新しい選挙制度が採用とならなかった場合においても、現行の制度に則り同メンバーを理事会推薦理事とする旨、星野会長より説明がありました。

・会員を比率と人数の観点から顕著に増加した支部に対する表彰ならびに報奨金の授与について議論を行い、報奨金を1位3万、2位2万、3位1万とし、その財源としてはスポンサーからの寄付を充当することが承認されました。尚、昨年度表彰の対象となる支部は、1位 鹿児島県 2位 三重県 3位 大阪府でした。

・三重国体開催日程について、協議の結果、第1希望案 平成33年 9月25日(土)～10月 5日 が承認されました。

・第3回全国中学生フェンシング選手権大会要項(案)について、協議の結果、承認されました。

・H29年度JOC国際人養成アカデミー受講者について協議しましたが、事前の担当理事に対する説明や理事会手続き等が十分に行われていないことから差し戻しとなりました。

(そのほかの主な報告事項について)

・FIEレフリー委員会会議議事録およびFIE法務委員会会議議事録について報告がありました。

・2月22日に実施されたガバナンス等に関する定例の内閣府立ち入り調査について報告がありました。指摘事項については厳正に対応してまいります。

・2017年度(公社)日本フェンシング協会登録のフローについて報告がありました。

第 22 回 平成 29 年 4 月 23 日理事会

(主な議案)

- ・2018 アジアベテラン選手権開催について検討しました。和歌山県で同年 8 月下旬に開催を予定しますが、開催費用の負担として、一定の助成金のサポートが得られることを条件とするともに、広告協賛金やスポンサー収入の獲得を前提としたもとの条件付き可決となりました。
- ・第 29 回ユニバーシアード大会派遣選手について承認しました。
- ・第 3 回全国小学生フェンシング選手権大会要項(案)について承認しました。
- ・平成 30 年度日本団体戦茨城県開催日について 平成30年12月21日(金)～12月23日(日)開催予定とすることで承認しました。
- ・えひめ国体要項と民泊実施に伴う歓迎会について 選手の体調管理を考慮した歓迎会の実施をお願いすることとし、条件付き可決となりました。
- ・えひめ国体のトップアスリート参加資格特例措置対象者について承認しました。①リオデジャネイロ・オリンピック出場選手、および、大会開催年の 4 月末において、②JOC アスリートプログラム強化指定選手、③国内ランキング上位者、④中央競技団体強化指定選手が予選会免除の対象となります。
- ・FIE Hall of Fame(世界殿堂)へ張西厚志顧問を協会推薦とすることを承認しました。
- ・総会運営規程改定について検討しました。協議の結果、①3 条(3)号及び(4)号については現行通りとする一方、②4 条(6)号については、白紙委任状は無効として取り扱うこととし、現行の「代理人を指定しない委任状は、社員総会の議長を代理人として指定したものとみなす。」を「代理人を指定しない委任状は、無効とする。」に変更することとしました。また、③7 条 1 項については現行通りとする旨承認しました。
- ・当協会の女性比率拡大のための積極的是正措置について検討し、5 年以内に女性比率を 30%以上にするを各委員会の目標とする旨承認しました。
- ・事務局の給与規程等について議論しました。事務局経費全体の構造や、退職金規定変更の法的整合性、事務局員の業務分担状況等の確認が必要と判断し、次回理事会に持越しとなりました。
- ・日本オリンピックズ協会代議員の選出について協議しました。人選調整については、東理事に一任することを承認しました。
- ・次回以降、総会議案書(案)の事前送付をしないことについて協議し承認しました。

(そのほかの主な報告事項について)

- ・コーチ等の雇用経費の状況について報告がありました。
- ・JOC アスリート委員会委員の選挙が行われるため、アスリート委員内で選挙を行い千田健太氏が選出された旨報告がありました。
- ・高円宮妃殿下の御著作「レンズを通して」の発刊の報告がありました。

- ・東京オリンピック・パラリンピック競技大組織委員会スポーツ局による「今後の大会準備等に関する説明会」(4月12日実施)について報告がありました。
- ・事務局から、平成29年度スポーツ振興事業に対する助成金交付状況、業務および資金繰り状況について報告がありました。

第23回 平成29年5月28日理事会

(主な議案)

- ・平成29年度JSC委託事業「アスリートパスウェイの戦略的事業」実施に関わる旅費規程の改定について承認しました。
- ・JSC関連の議案3件（①JSC有望アスリート強化支援事業、②JSC次世代ターゲットスポーツの育成支援事業、③JSC次世代スポーツ技術開発支援事業）について検討しました。新規事業の協会負担の具体的内容が見えないとの意見に対し、経済上の協会負担はないが、人材等のリソース上の対応は困難等の意見が出されました。協議の結果、いずれの事業も協会に追加的な経済コストは生じないこと、および、今後の進捗状況について強化本部で対応し報告することを確認したうえで承認しました。
- ・定時社員総会の招集について以下の通り審議しました。
 - (1) 総会を平成29年6月25日 14時から実施することを承認しました。
 - (2) 社員総会運営規程改正を総会における審議事項として取り扱う(具体的な内容については別議案で審議する)ことを承認しました。
 - (3) 今回の総会手続きにおいて現行の書面投票制度を続けることを承認しました。尚、本件については、書面投票制度不採用時には代理人に委任することが必須となるが、間接的とはいえ全員出席となり緊急動議の対応が可能となると考えられる一方、議案内容が不明な案件まで代理人への委任を行うと各支部代表の意見が正しく伝達されることが十分に担保されない懸念があるのではないか、などの意見が出されました。
- ・定款変更について以下の諸点について、定款の変更を行う旨総会で審議すべきか審議をしました。
 - (1) 理事定数を15名以上25名以内(但し、原則20名以内とし、そのうち女性理事の比率が25%未満の場合には、理事総数25名以内で女性理事を追加して選任することができる)とする議案について協議しました。当該議案について、次回理事改選で当協会の理事の女性比率が11%に下がってしまうことが見込まれる状況にあるが、FIEの方向性に加え、スポーツ庁やJOCも理事構成については注目しており、女性比率を上げる方策を採るべきとの提案趣旨が示されましたが、趣旨はわかるが、手続き的に拙速ではないか、などの意見が出され、審議の結果、当議案は否決となりました。
 - (2) 変更履歴の附則への正確な反映の実施、(3) 別表の基本財産に関する記載の是正、(4) 社員総会の議長は代表理事とする、という3件の議案について協議しました。審議の結果、(2)

(3)の表記に関わる是正措置、および、(4)について一部社員からの社員総会の議長に関わる定款変更の提案も含め、次回総会で議論する旨承認しました。

- ・理事女性枠追加の件について協議する予定でしたが、前議案において、本件の前提となる定款変更の議案が否決されたことから、当該議案については議論されませんでした。
- ・平成29年度ジュニア育成功労者表彰推薦書の承認について、青木伸行氏、三好啓一氏を推薦する旨承認しました。
- ・平成29年度全日本団体戦開催について、実施が承認されました。
- ・オーストラリア・フェンシング協会との連携協定締結が承認されました。
- ・EU一般データ保護規則への対応について協議しました。本議案は、2018年5月25日からEU居住者の個人情報管理について、協会は義務を負うことが見込まれることから、法律事務所と契約し対応する提案でしたが、FIE等の対応を見てからで良いのではないかなどの意見が出され、当面は今後の推移を見守るべきとして、継続審議となりました。
- ・平成28年度決算書について承認しました。
- ・事務局員給与規程について承認されましたが、規定や費用等の詳細について質問が多かったことから、事務局において問い合わせを理事会後1週間受けつけ、その回答を理事に説明することになりました。
- ・2017NAVIミニムキャンプの開催実施について承認されました。

(そのほかの主な報告事項について)

- ・ユニバーシアード役員名簿。
- ・アジア選手権選手役員選出理由。
- ・車いすフェンシング協会との連携について。
- ・総務・企画委員会2016年度業務報告/2017年度計画、および、協会ホームページに掲載見込みの初心者向け案内についても報告が行われました。
- ・事業委員会2017年度事業計画。
- ・えひめ国体役員の件。
- ・熊本県でのイベント開催について。
- ・日本オリンピックズ協会代議員の報告および会員数について。
- ・フェンシング後援会発足について報告がありましたが、後援会の仕組みや事務局体制等について次回理事会において説明することとなりました。
- ・事務局から、業務分担報告、4月の業務報告、資金繰り報告。

第 24 回 平成 29 年 6 月 25 日理事会(速報ベース)

(主な議案)

- ・平成29年度全日本団体戦 FJE 推薦チームについて議論しました。現時点では FJE 推薦に該当するチームがない為、平成28年度全国高等学校選抜選手権大会のエペ・サーブル優勝校を推薦することとしました。尚、フルーレは既にインターハイ上位2チームが推薦されているのでフルーレは FJE 推薦からは除外します。また、優勝校が参加しない場合、繰下げで推薦するとともに、来年度以降、FJE 推薦はなしとし、エペ・サーブルの全国高等学校選抜大会優勝校を推薦することを要項に盛り込むことを確認しました。
- ・強化スタッフ名刺作成について議論しました。今後2020東京オリンピック等に向けて必要性が高まることが見込まれますが、これまで名刺作成に関する明示的ルールがないことから、当該規定を作成する方向で継続審議することになりました。
- ・EU 一般データ保護規則施行に向けて、弁護士事務所を慎重に選定のうえ、対応していくことになりました。
- ・2017年世界選手権選手・役員選出について強化本部が示したメンバーが了承されました。

(そのほかの主な報告事項について)

- ・「日本フェンシング後援会」(仮称)発足。
- ・平成29年度 JSC 事業、ブロックゲームス(九州地区、東北地区)大会への協力・連携。
- ・JICA 海外青年協力隊員の選考。
- ・2016年度資金収支実績。
- ・JOC アカデミーと国際引き継ぎ。尚、国際委員会の引継事項に関しては、事務局森さんに引き継いでいるとの報告がありました。

以上